

JAXA の宇宙利用推進本部の事業推進部長である道浦(どうら)俊夫氏が資料 33-2(WINDS の愛称)を説明した後、下記のような質疑応答があった。(愛称は「きずな」である)

松尾:「かぐや」の時は殆どユニークだったと思うけれども、最初から決まっているような感じも有りましたが、これは5%の人が「きずな」と云うのは、中々偶然じゃ無いんだろうけれど、優位に多いような気がしますが、何か誘導したんですか。

JAXA 道浦:いえいえ、誘導はしてません。

松尾:例えば応募の要領の中に、「例えば「きずな」が考えられる」とか、そんなことはやってない。

JAXA 道浦:全然、誘導しておりませんで、偶然の結果で御座います。「かぐや」の場合は1万件の内約2千件が「かぐや」と云う名前を付けましたけども、今回は約1万件の内に約500件位で云うので、非常にバラツキが有ったけども、名前としては非常に良い名前じゃないかと考えております。

松尾:ばらついたにしても、非常に優位に同じことを考える人が居るもんだなと思っただけです。

森尾:因みに、2個目に応募したのは何票位だったのですか。

JAXA 道浦:え。

松尾:第2位。

JAXA 道浦:第2位がですね、約100票下です。

森尾:100票、350。

JAXA 道浦:ええと、「はやて」と云う。やっぱり、高速データを流

すというので、「はやて」とかそう云う、高速データの的な名前のバラツキは有りましたけれども、

池上:あと、あれですかね、2番目が濁音になるのが好きなんですか、日本人は。「すざく」とか「かぐや」とか。

(道浦部長大笑い)

松尾:それは道浦さんに聞いても仕方がないこと。

池上:其れは言語学者。

森尾:募集要領には一番沢山票を集めたものに決めると書いてあるんですか。

JAXA 道浦:はい、そうで御座います。

森尾:JAXAとしては気に入らない名前でも一番多かったら決めると云う風になるんですか。

JAXA 道浦:まあ、例えば、商標権とかそう云う問題があったときには、決められませんけれども、そう云う問題が無い時には、決めると云うことで提案させて頂きました。

青江:大分近付いて来たんで、WINDSの所謂実証実験、色々の事が準備整って来つつあると言いましょか、なんだと思うんですよね。1回折を見て、実証実験の準備状況と言いましょか、其の辺をきちんと報告をしてくれると良いかなあと。上がればこんな実験をと云う、色んな処で色んなあれが有ると思うんですよね。

JAXA 道浦:解りました。今、基礎実験はJAXAと先程ご説明したように、NICTがやると、其の後の炉用実験につきましては総務省さんが募集しておりまして、非常に沢山の案件集まっておりますので、その辺を含めてですね、総務省さん

等々もご相談させて頂きまして、ご紹介させて頂きたいと思
います。

青江:それからもう一つは、そういった実験の中に、未だ、センチ
ネル・アジアというんですかね、あれも時間的に言うと早め
に入ってくるんですか。

JAXA 道浦:はい、入ってまいります。基本実験の中に、センチネ
ル・アジアで、防災、ALOS のデータを WINDS を使って配
信するというのが入ってまいりますので、その辺も含めてご
説明させて頂きたいと思ます。

青江:はい、お願いします。

松尾:どうも有難う御座います。